



むつごろ

福岡市佐賀県人会会報



放生会の大名行列 — 鐘・太鼓の音に合せた行列浮立 北茂安町

目 次

表紙 放生会の大名行列—鐘・太鼓の音に合わせた行列浮立 北茂安町	
平成14年福岡市佐賀県人会新春懇親会……………	2～3
ふるさとの首長・ふるさと紹介 北茂安町 最所義雄町長……	4
郷土の歳時記(14.3～14.7)……………	5
特別寄稿「一步一步」宮副博昭さん……………	6～7
このごろ私は 原 勇さん・鶴崎 剛さん・古田洋介さん	
黒川 徹さん・弓 敏さん……………	8～9
佐賀県だより 佐賀新聞社提供……………	10～11
最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集だより……	12

44

2002.2



相知の大草町長



嬉野の谷口町長



多久の横尾市長

年はワールドカップもござい
ますし、福岡県は韓国に一番
近いところでございますので
今後益々スポーツを通して交
流が深まるのではないかと期
待しております。又、福岡で
は今年ロバカップ世界大会が
開かれ、いろいろな意味で福
岡は注目されている訳でござ
います。

今日は佐賀県各地の方々
が大勢お見えでございますので
皆様方の交流を益々深められ
てこの会が盛会になりますよ
う祈念致しまして新年のご挨拶
にかえさせて頂きます。あ
りがとうございました。」

続いてご来賓の紹介に移り、
衆議院議員の保利耕輔（代
理）、山崎拓（代理）の二氏、
県議会から武藤英治、堀宏行
の二氏、市議会からは川上義
之、南原茂、小島久弥の三氏
がお見えになりました。



慎重に選んでいます

さて、お待ちかね、期待の
乾杯です。指山副会長の音頭
で、平成十四年度の飲み始め
の幕が上がりました。



賀詞交換

名刺を交換しながらの話題は
やっぱり景気の動向です。



指山副会長乾杯の音頭

さて、そろそろ目玉商品の登
場です。厳正な抽選の結果、
唐津シーサイドのペア宿泊券
を引き当てたのは松岡政司さ
んです。おめでとうございま
す。今年はいいい年になりそう
です。



大当たり！松岡政司さん

今回も会員各位のご協力で沢
山の賞品を提供頂きました。

さて、最後にもうひとつ目玉
が残っています。博多座のペ
ア観劇券です。松本社長の厳
正な抽選により、太田洋道さ
んと無津呂忠さんに当たりま
した。（よかったですネ）

さあ、そろそろ終わりの時
間がきたようです。今回は特
別に全員で手を繋いで、佐賀
県の歌「栄えの国から」を大
合唱しました。中には輪の真
中で踊りだす人もいて、最
後まで盛り上がりつていまし
た。六月の総会での再会を約束し
て、森副会長の閉会の言葉で
お開きとなりました。



輪になって

りそうです。続いてお買い物
ギフト券、大和酒造・窓の梅
酒造・天山酒造のお酒、和華
蘭の大吟醸、佐賀情報センタ
ーから有田焼、そして東急ホ
テルの食事券、大草相知町長
の提げて来た相知棚田のお米
などものすごい量の賞品です。

平成14年

福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成14年1月24日(木)

平和桜本店

金子会長
年頭の挨拶辻副会長
開会の挨拶

昨年九月に勃発したアメリカ
の同時多発テロに、人は己の
命を懸けてここまでやれるの
かと、その行為に震撼し、半
ばあきたものであるが、月
日が立つにつれて記憶が追憶
に変わり、明けて新年、梅の
花の便りも届き始め、南国沖
縄では寒緋桜が満開の暖冬日
本列島。春が駆け足でやって
来ているようです。

初めに、辻副会長より「昨
年は新世紀の始まりというこ
とで大きな期待を持っていた
が、大変な年になってしまっ
ました。今年こそいい年にな
るように」と願いを込めて開
会宣言があり、続いて金子会
長より次の様な年頭のご挨拶
を頂きました。

内で行けますし、唐津方面へ
も都市高速で五十分でいける
ようになりましたし、その意
味では、さらに交流が深まっ
ている気がします。

ただ、昨年十二月に愛子内親
王がお生まれになったニュー
スを耳にしてホッとした気が
します。一方、世界を見ます
と、いろいろなスポーツの交流
が盛んで、ヨーロッパを含め
て世界は非常に近くなってお
ります。昭和三十一年に私が
アメリカに留学した時は、横
浜からロスまで2週間かかり
ましたが、四十五年近くも経
つと世の中こんなにも変わる
ものかと、驚きです。特に今

なり冷え込んだ一月二十四日
(木)、福岡市中央区天神の
平和桜本店で「福岡市佐賀県
人会」が開催されました。

さて、定刻を若干過ぎた頃
井上理事の司会で、平成十四
年度の新春懇親会が始まりま
した。

代表理事
常任理事
副会長
会長
監事

監事	久保悦次	古賀利治	清水繁俊	前田文敏	落合良太	小松省巳	沢村利次	井上浩輔	田中則雄	太田勇吉	田中秀男	山下廣人	井浦順爾	永倉遵五郎	森弘養	指山長英	辻宜嗣	金子宜嗣
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	------	-----	------

郷土の歳事記

3月

1日 はがまつり(鹿島市世間)
3日 ひなまつり茶会(鎮西町 茶苑 海月)
8日 鬼子母神祭(小町町光勝寺)
初旬 大野原高原野焼(姫野町)
上旬 佐賀市農林水産まつり(佐賀市)
上旬 春風ウォーク(中原町)
15日 おかゆだめし(北茂安町千栗八幡宮)
15日 おかゆびらき(川副町志賀神社)
17日 公認歌垣の郷ロードレース(佐賀市)
18日 観光の日(武雄市)
中旬 佐賀レディースロードレース(佐賀市)
中旬~4月 下旬 観桜大会(小町町)
21日 和泉式部忌(有明町福泉寺)
23日~4月7日 第6回TAKBO・世界一登窯まつり(武雄市竹古場キルンの森公園・飛龍窯)
29日 直前の日曜日 曾根崎の獅子舞(鳥栖市曾根崎)
最終日曜日 とす弥生まつり(鳥栖市)
最終日曜日 虹の松原春まつり(唐津市・浜玉町、虹の松原全域)
最終日曜日 桜まつり・観桜ロードレース大会(福岡町マイランド公園)
下旬 古野ヶ里菜の花マーチ(神崎町ほか)
下旬 全国中学校選抜剣道大会(神崎町)
下旬 鎮西山さくら祭り(上峰町)
下旬 環境フェスタ(三日町)
下旬~4月 上旬 旭ヶ岡公園桜まつり(鹿島市)
下旬~4月 上旬 伊万里春まつり(伊万里市)
下旬~4月 上旬 唐津城・鏡山の桜見頃(唐津市)

4月

1~5日 伊万里春の窯元市(伊万里市)
1日~5月5日 御船山楽園花まつり(武雄市御船山楽園)
1日~5月中旬 川上峽鯉のふき流し(大和町)
5日 おやまさん祭(塩田町吉浦神社)
6~7日 櫛田宮春の例祭 みゆき祭り(神崎町)
第1土曜日 春雨まつり(小町町)
第1土・日曜日 武雄温泉春まつり(武雄市)
第1土・日曜日 北茂安町春まつり(北茂安町白石神社周辺)
第1日曜日 さが桜マラソン(佐賀市)
第1日曜日 白山神社春祭(玄海町)
第1日曜日 黒髪山開き(西有田町竜門山の家)
第2日曜日 大隈祭(佐賀市)
第2日曜日 富士町健康マラソン大会(富士町)
10~12日 日傘さん(佐賀市松原神社)
10~20日 お経会(大和町美都郡)
10日~5月3日 しゃくなげ祭り(北方町高野寺)
初旬 うれしの茶ミット、古田おやまさん陶器まつり(姫野町)
初旬 桜ロードウォークラリー(姫野町)
上旬 えひめあやめまつり(佐賀市久保田町)
上旬 国際アマチュア陶芸展伊万里(伊万里市)
上旬 チューリップまつり(久保田町)
上旬 ふなつり大会(神崎町)
上旬~5月上旬 骨とう市と富士館物語(仮称)(武雄市)
上旬~5月下旬 観光潮干狩り(川副町・諸富町)
16日 香椎神社春祭(久保田町)
18日 多久聖廟春祭(多久市)
19日 仙賀神社春祭(玄海町)
19日~5月6日 高伝寺釈迦堂まつり(佐賀市高伝寺)
中旬 江藤新平銅像まつり(佐賀市)
中旬 太陽と緑のふれあいまつり(久保田町)
中旬 乙宮社西宮社春祭(玄海町)
中旬 ショクナゲ祭り(北波多村)
中旬 黒髪山開き(山内町)
中旬 淀姫神社金比羅大祭(玄海町)
21日 白木聖廟春祭(江北町)
最終日曜日 四季の丘フェスタinきたかた(北方町)
29日 さがんウォーク(佐賀市)
29日 唐津城歴代城主慰霊祭(唐津市)
29日 唐津神社春季例大祭(唐津市)
29日 宿町鉦浮立(鳥栖市)
29日~5月5日 有田陶器市(有田町)
29日~5月12日 九州山口陶磁展(有田町)
下旬 大串ふうどう祭り(富士町)
下旬 こいがれんげ草祭(西有田町)
下旬 歌垣つづきまつり(白石町)
下旬 新兵衛まつり(姫野町上不動)
下旬~5月初旬 大興寺つつじ見頃(基山町)
下旬~5月上旬 つつじ祭(鹿島市祐徳神社)
下旬~5月上旬 ムツゴロウまつり(芦刈町)
下旬~5月上旬 観光いちご狩り、観光潮干狩り(有明町)
下旬~5月上旬 ぼたん祭り(肥前町)

5月

1日 御田祭(芦刈町乙宮神社)
1~31日 春まつり(浜玉町諏訪神社)
2~4日 背振神社弁財天まつり(背振村)
3日 鳴神の庄盛満祭(七山村)
4日 陶祖祭(有田町)
5日 竹の古場つつじ祭り(伊万里市)
初旬 新茶まつり(姫野町)
上旬 唐津焼展(唐津市)

5月

上旬 唐津城の藤見頃(唐津市)
上旬 干潟体験隊ガタベンチャー(川副町)
上旬 兵庫まつり(東春振村)
上旬 新茶まつり・唐津焼窯元まつり(北波多村)
上旬 祇祭祭(姫野町)
上旬~下旬 佐賀県一の大ショクナゲ見頃(背振村淨徳寺)
上旬~8月 観光釣船・網漁体験船(諸富町)
中旬 ひやあらんさん祭り(大和町川上峽)
中旬 背振千坊聖茶まつり(東春振村)
中旬 道の里大茶会(小町町)
中旬~6月 鹿島ガタリンピック(鹿島市)
中旬~6月 エッ漁(諸富町)
中旬~6月上旬 ラベンダーフェアー(西有田町チャイナ・オン・ザ・パーク)
25日 おぎホテルロードレース大会(小町町)
26日 佐賀セラミックロード車いすマラソン大会(西有田町)

田4月15日~7月15日 水堂出水法要(白石町安福寺)
下旬 祐徳本因坊戦(鹿島市祐徳神社)
下旬 ニジマス釣大会(七山村観音の滝)
下旬 志田焼の里陶芸ふるさとまつり(塩田町)
下旬~6月上旬 そうめん祭り(神崎町)
下旬~6月中旬 花菖蒲見頃(大和中央公園菖蒲園)
下旬~6月中旬 ホテル見頃(小町町)
下旬または6月上旬日曜日 うめーランド(武雄市御船ヶ丘梅林)
ほたるまつり(武雄市保養村)

第1土・日曜日 呼子大綱引き(呼子町)
土曜日 子供綱引き
日曜日 大人綱引き
第2土曜日~8月第1土曜日 銀天夜市(佐賀市)
10日~7月10日 見聞りの滝あじさいまつり(相知町)

上旬 ほたるまつり(鹿島市奥山)
中旬 船釣り大会(鎮西町)
中旬 虹の松原トライアスロン唐津(唐津市)
中旬~7月上旬 大聖寺あじさい祭り(北方町)
30日 全国田植大会(西有田町)

1日 イマリンビーチ海開き(伊万里市)
1日 作礼山山開き(厳木町)
10日~10月9日 眉山キャンプ場開き(武雄市)
初旬 海開き
初旬 広川原キャンプ場開き(姫野町)
上旬 孔子の里・たく七夕まつり(多久市)
13日 八坂神社夏祭(白石町)
13~15日 祇園祭(鹿島市松岡神社)
15日 旗あげ神事(中原町後徳神社)
15日 大川内山キャンプ場開き(伊万里市)
15日 鬼ノ鼻山キャンプ場開き(多久市)
20日 唐津市民花火大会(唐津市西の浜)
20日 海のカーニバルinからつ(唐津市)
20日 水と緑の環境フェスタ(神崎町)
海の日 有田夏祭(有田地区歴史と文化の森公園)
土用の丑の日 海みそ(小町町清水宝地院)
夏休みに入って最初の土・日曜日

鳥栖山笠(鳥栖市本町八坂神社)
浜崎祇園祭(浜玉町諏訪神社)
きゅうらぎ川あゆみまつり(厳木町)
21日 塩田川手づくりイカダ大会(塩田町)
中旬 仙賀神社輪くぐり(玄海町)
中旬 船釣り大会(肥前町)
中旬~8月上旬 からつ土曜夜市(唐津市)
中旬~9月下旬 奥平谷キャンプ場開村(鹿島市)
田6月14~15日 小友祇園祭(呼子町小友の海を渡る山笠)
田6月14~15日 小川島祇園祭(呼子町)
26日 増田神社夏祭(肥前町)
田6月17日 弁天祭(呼子町)
27日 九州花火大会(唐津市松浦川河口)

第4土~8月第2土曜日 土曜風鈴夜市(姫野町)
第4土・日曜日 山笠祇園(小町町須賀神社)
最終土曜日 太良町納涼夏まつり(太良町)
最終土・日曜日 まつり島栖(鳥栖市)
最終土・日曜日 きくのくに祭り(基山町)
28日 大日の皮浮立(武雄市)
田6月19日 ムツゴロウ王国夏まつり(芦刈町)
最終日曜日 唐津湾イカダ大会(唐津市)
29~30日 夏越祭(呼子町田島神社)
下旬 納涼花火大会(鹿島市浜川河口)
下旬 東与賀町干潟まつり(東与賀町)
下旬 長崎街道イベント(神崎町)
下旬 いろは島フェスタ・シーカヤック大会(肥前町)
下旬 竹崎カニと温泉まつり(太良町)
下旬 土・日曜日 徳須恵祇園祭(北波多村)
下旬~8月中旬 灯籠まつり(武雄市)

ふるさと首長



北茂安町 最所 義雄 町長

「いきいき暮らせる
すまいる北茂安」

21世紀を迎えた今日、少子・高齢化時代、国際化時代、高度情報化時代、環境問題、町民生活を取り巻く社会情勢の変化に的確に対応しながら、自然を守り、町勢の健全な発展と、若者から高齢者までが快適に生活できる町づくりを推進するため様々な施策を構じ、町民すべての人々がいきいき暮らせる、すまいる北茂安町を目指し研鑽努力してまいります。

社会基盤の整備では、町道白石・西大島線道路改良工事により町を縦断する幹線道路の整備、又、農村振興総合整備事業による集落内外の道路網等の充実化、さらに公共下水道整備事業

の推進により環境面の整備を図っております。産業振興面では、厳しい状況下ではあります、地域に根ざすもの、都市近郊の特性を生かす施策についても充実してまいります。福祉関係では、少子高齢化への対処、介護保険の定着充実化・医療の適正化を健康増進の生き生き人生を推進いたします。教育、文化、体育面においても、心豊かで創造性のある青少年の健全育成、文化活動の推進、スポーツの振興等、うるおいのある地域づくりを目指します。そして、行政の質を高め、公正で効率の良い行政の執行を図り、町勢発展に尽力いたします。

北茂安町は、佐賀県東部三養基郡のほぼ中央部に位置し、北には鳥栖市、中原町、西には上峰町、南西には三根町、南東には筑後川を挟んで福岡県久留米市と隣接している町です。町名は、土木治水の神として白石神社に祀られている偉人・成富兵庫茂安の名にちなんでいます。

古くから肥前、肥後、筑前、筑後の交通の要衝として栄え、今も古い城跡が多く残る地域であるため、町には歴史の香り高い文化が息づいています。

三月には、千栗(ちくり)八幡宮の神事である御粥試しが行われます。このお粥さん祭りは、1200年有余年の歴史を持つ神事で、日本三代粥祭りのひとつと

して有名な肥前一宮のお粥祭り(おかゆさん)です。おかゆのカビの生え具合により、肥前、肥後、筑前、筑後の一年間の天候、農作物の出来具合を占うものです。又、九月には功德をつみ殺生を戒めるため、生物を放つことにいわれをもつ放生会があり、百人からなる大名行列がそろいの衣装で鐘・笛太鼓の音に合わせた行列浮立の様子はまさに絢爛豪華です。

白石焼の窯元のある白石神社周辺においては、四月には春まつり、九月二十三日の秋分の日を挟んで五日間、白石焼陶器まつりが開催されます。各窯元はとこそせましと多くの焼き



功德をつみ殺生を戒めるため生物を放ついわれの放生会

ふるさと紹介

北茂安町

北茂安町は、佐賀県東部三養基郡のほぼ中央部に位置し、北には鳥栖市、中原町、西には上峰町、南西には三根町、南東には筑後川を挟んで福岡県久留米市と隣接している町です。町名は、土木治水の神として白石神社に祀られている偉人・成富兵庫茂安の名にちなんでいます。

古くから肥前、肥後、筑前、筑後の交通の要衝として栄え、今も古い城跡が多く残る地域であるため、町には歴史の香り高い文化が息づいています。

三月には、千栗(ちくり)八幡宮の神事である御粥試しが行われます。このお粥さん祭りは、1200年有余年の歴史を持つ神事で、日本三代粥祭りのひとつと

物を並べ、県内はもちろん県外からの家族連れで賑わっています。

このほか、地場特産品としては、背振山系の伏流水を使った日本酒や、とまとアスパラ、花卉等の栽培が盛んです。

福岡市からは1時間で行ける身近な町です。ゆつくり遊びにこれませんか。

特別寄稿
一步、一步

四国靈場八十八ヶ所
(2)

一、二〇〇キロ全行程徒歩巡拝
(連続三十九日間)

三日目 九月十日。11番
12番の約23 K。遍路の本
では山道の12・3 Kは健脚で
四・五時間、並足六時間、ゆ
る足八時間とある。私の宿は
12番から下って約10 K先だ。氣
を引き締めねばならない。

こで泊る同行の松永さんとは
お別れだ。短い期間だったが
何泊も一緒に昔からの友人の
ような気持ちになっていたの
で淋しさを感じた。

別れた後は石川君と二人で
10 K先の民宿を目指した。

午前六時三人で出発。標高六〇〇mの柳水庵を経て一本杉庵へと山道をひたすら登る。とにかく、ふき出す汗の中前に進むのみだ。同行の若

四日目。九月十一日、13番、14番、15番、16番、17番の31K。出発後、石川君が遅れ出し私が先行していった。

い石川君はポトルの水をあるだけ飲んでしまったようで、いつも「水、水、水」と言っている。「全部飲んだら山は越えられないよ」と言うのだが……。途中、幸運にも一軒の民家でホースから山水が出ているのを見つけて、石川君「水だ、水を飲みましょーう」。民家のおばさんからはバナナのお接待まで受けた。

十二時半、標高八〇〇mの焼山寺着。静かな山寺だ。こ

一人で歩いていると静かに軽四輪車が停車した。車内からご婦人が「13番大日寺の方へ行くので、どうぞよかつたら〜。」と車のお接待。顔を见ていると乗せてもらおうかとの心がゆれたが、ふと自分はい歩いて巡拝するために来ているのだ。「完全歩行でいきますので、お気持だけいだいて歩かせていただきます」と丁寧に辞退。ご婦人は笑顔で「お氣をつけて」と走り去つ

徳島市にある13番から17番のお寺を終え中心部へと進むと、車も人の量も多く来ているとのこと。

久しふりに味わう都会の雰
気である。ただ人の視線が田
舎の人と少し違うのを感じ
た。

五日目、九月十二日。18
番、19番の27K。出発後、
一時間すると、二人連れのお
遍路さんに追いついた。母親
と二十三才の息子さんが約二
ヶ月かけてゆつくりと八十八

道路は太陽に熱せられ、そ
の反射熱と上からの熱で体の
熱さがサンドイッチみたい
で、とにかく暑い。しばらく
すると勝浦川に合流。体
の熱気を冷やすために、川に
足をつけたまま、しばらく水
遊びをする家族づれや、釣り
人をながめ続けた。

六日目、九月十三日。20

寺を歩くとのことだ。歩く理由等は聞かなかった。

19番立江寺の門前茶屋で昼食をとると、話好きの八十四才のおばあちゃんが出てきて、しっかりと話相手になってくれた。「二十年生れの息子がいるがお遍路ができるのは、もっと先だね。家がしっかりとしていないとできない

番、21番の14K。昨夜はすぐ寝入ったが九時すぎにギターの音色で一旦目を覚した。外を見ると宿の前の消防車庫で野宿しているようだ。本来なら「うるさい」と思うのだけれうが全然感ぜず、なつかしいフォークソングの曲に安心感から再び寝入ってしまった。

早朝、消防車庫へ行くと茶髪の青年二人、ギターの青年、それに石川君と一緒にいた。石川君は野宿だ。ギターの青年に「夜ギターを弾いていたるう」と声をかけると「うるさかったでしよう。すみません」と返ってきた。「いいや、なつかしくて安心して寝入ってしまった」と言う笑顔がこぼれた。

石川君と別れて宿を出発。(石川君とは十月十四日の87番志度寺で再会するまで会うことはなかった)。

九時頃、標高五五〇mの鶴林寺に到着。鶴林寺から次の標高六〇〇mの太龍寺へは一日下って再び登る行程だ。ペットボトルの水と体内への水分を充分に補給して出発。太龍寺への山道は下り、上り共階段の連続で非常にきつく、汗が体中から吹き出し目にしみ込んだ。

宿の坂口屋は太龍寺から四Kの道程。二時頃到着すると全身汗だらけの衣類をぬぎ洗濯、そして風呂の手順が始まり一日で一番気持が安らぐ時だ。風呂場では冷水を頭から何杯も何杯も一気にかぶると体中の熱が冷めていった。

風呂上がりの廊下の壁に篠栗霊場めぐりの大きなポスタ

ーが貼つてあるのには驚くと同時になつかしさがこみ上げてきた。

紙を取り替える大変忙しい夜であつた。

八日目、九月十五日。日和

七日目 九月十四日。22
番、23番の約35 K。雨↓暴
風雨。

佐町〜穴喰町までの43 K。
早朝、サッシの窓がガタガタ
する音で目を覚ました。

八日の開始以来、初めての雨の朝となり雨具が活躍する日がきた。初めて雨具をつけて歩くが全々いやな気持ちにならない。雨は雨で太陽の照りつけがない分、楽であった。とにかく自然のなすがままに身をまかせる心境だ。

朝食後、国道55号線を一
路室戸岬へ。風は強く、しげ
しば吹きとばされそうになっ
て金剛杖で体を支えて立ち止
り、何度も菅笠に手をやつ
た。菅笠は初日、民宿「つし
まや」のおばさんが結んでく
れたあごひものおかげで、と

峠越のふもとの店で峠の様子を尋ねると、私の姿を上から足下まで目で追って「雨は

降っているが峠越えの遍路道がいい」とすすめてくれた。山道では川のようになった所があったが、足首までつかりながら足を進めた。そして、22番を終えると横なぐりの雨、雷のなかを日和佐町の23番薬王寺を目指した。

日和佐町から24番最御嶺寺のある室戸岬までは約百K。二泊三日で24番を目指し、今日の宿、穴喰町の「ぬしま」までは歩くのみ。

四時すぎ、やつとの思いで宿に到着。床の間付きの六畳、八畳の二間続きの広い部

宿では雨でびしゃびしゃになつた靴、靴下、雨具、下着等を一気にとつた。風呂の体重計で57・5を確認、さらに1Kの減量。食べてやせる、もつとも健康的なやせ方だ。風呂から上ると新聞紙をたくさんもらつて靴の中に入れて扇風機で乾燥させたが、夜中、目が覚めると何度も新聞

屋に案内された。そこには何故か寢床がすでに二人分ひいてあつたが、その理由は聞かないままだった。ひよつとすると同行二人、お大師様の寢床だったのであらう。

早速、三畳程の広い湯たつぶりの風呂に入った。まずは水をかぶる。次に湯船に入り返すと少しづつ

つ体温が下っていくのが実感できた。湯の中では、お足様

の裏　ふくらはぎをしつかりとマツサージ。「お足様ありますがとうございます」をくり返し言いながらマツサージを続けた。今日まで豆もできず、しつかりと私の体を運んでいただいているのだ。実にありがたい。

今夜が徳島県最後の宿で明日からはいよいよ土佐路だ。
(高知、愛媛、香川の三十七日日まで省略)

三十八日目、十月十五日。
八十八番結願寺の大窪寺へ民
宿までの25K。夜中、強く
降った雨も朝には止んでい
た。朝食後、団体さんはす
ぐに出発。女将さんに「団体
さんは食事をよく残します
ね」と尋ねると「車で回っ
ている人達は全般的に食欲
がないようです」。

七時すぎに出発。しばらくすると前方に前山ダム of 巨大なコンクリートの堤防が姿を現した。堤防に着くと女体山コースと旧道コースの分岐を示す遍路標識があり、その裏側には「ご注意、脚力に自信のない方は直進が無難です」と書いてあった。私は旧道と決めていたので、ちゅうちょすることなく直進した。

十一時すぎ結願寺、大窪寺に到着した。歩き出して三十八日目。正に小さな一歩、一歩の積み重ねの結果である。そして何と言っても、お大師様のお導きのおかげだ。門前で思わずバンザイをした。境内を山中の寺とはいえ、さすがに大勢の参拝者で賑わっていた。納経をすませ門前のみやげもの店の方へ下っていくと、石川君がいるではないかと。昨日、86番で偶然に再会して、再びの出会いに感動で胸が熱くなった。二人で昼食をとりながら話す為、店に入った。九月に歩き出して以来、宿以外で一切アルコールは口にしなければ、今日だけは特別だとビールを注文し、二人で結願の祝杯をあげながら今日までの遍路話に花が咲いた。

石川君と別れ出発しようとしたら、ここ数日間よく会っていた半ズボン姿の吉崎さんとバッタリ。この二つの出会いの偶然さは何の力だろう。

お詫び、前回、今回と二回にわたり「一歩、一歩」を記載させていただきありがとうございます。

実は千二百Kの体験記を一
二三頁にわたり一冊の本にし

◎宮副様より有難い申入れがありました。希望される方は送料二五〇円（切手にて可）を添え申込み下さい。

たものを抜粋して書くことの難しさを考え、一旦はお断りしたのですが、再度の依頼で書いたものの、抜粋の内容は味けないものとなり、その難しさを実感しました。その結果、以降のほぼすべてを省略することとしたし深くお詫び申し上げます。

そのかわり、四国霊場十八ヶ所に興味をお持ちの方には本を読んでいただくために、本のお接待をさせていただきます。

申込先は



私は昭和二十九年伊万里高校を卒業した。故郷を離れてはや四十五年。平成十三年三月、国立療養所西別府病院院長を定年退職した。唐津出身の妻と伊万里にいる母や兄弟の希望もあって九年間住んだ別府を離れ福岡へ移って来た。福岡は九大学生時代以来の懐かしいところで仲間も多い。現在は大野城市で毎日、脳性麻痺、てんかん、自閉症などの障害児の診療に当たっている。停年から死ぬまでの間にもっとも成し遂げたかったのがかつて留学したボストンに行くことであつた。それで昨年六月ハーバード大学ボストン小児病院に行つて一ヶ月間障害児リハビリテーションの研修を受けた。父は佐賀県議会議員を十六年間していたが三年前に亡



故郷を離れて四十五年
黒川 徹さん

くなつた。小学校時代メガホンをもって選挙運動をしたり、沖中知事が伊万里湾の見える家の庭で浮流による歓迎を楽しまれていたことを思い出す。今、私は山代中学校や伊万里高校の同窓会や佐賀県であればどこへでも行くのを楽しみにしている。

会員の作品を お待ちしております

「会報むつごろ」の紙面を通じて、相互交流を深めましょう。
創作、随想、釣り自慢、レジャー紀行文、短歌、俳句なんでも歓迎します。絵画、書、造形作品などの場合は写真をお送りください。
おまちしています。
投稿作品には、テーマ、住所・氏名・年齢・職業・出身地を記入してください。

編集部

父が歩んできた
教育の道へ
福岡歴史の町に
自然体験スクール開校
弓 敏さん

現在、私は福岡市の西部に位置し、緑の広がりや背景とし、玄界灘を一望する美しい景観の中にある福岡歴史の町で仕事をしています。福岡歴史の町は、昭和六十一年に「古き良き郷土文化の伝承と振興」を目的として当時の進藤一馬福岡市長が提唱され、日本習字教育財団・原田観峰宗師の「青少年に世界を知らしめ、スケールの大きな日本人に育てるため、また、健全なコミュニケーションを育てるための社会教育施設を創る」という理念が結びつきオープンいたしました。



ために命を捧げようとの思いから自然体験スクールを開校しました。さらに、社員教育を実施し、先人達の思いを大切にすると社会人を育ててまいります。
何卒、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

このごろ 私は

武雄高校同窓会

「福岡武陵会」
会長 原 勇さん



福岡県内在住の武雄高校同窓会(旧制中学校・高等女学校を含む)を福岡武陵会と称しますが、この度の総会で会長に就任することとなりました。先輩諸氏多数おいでではありませんが、高校卒業者の若返りの声が大きく、引受けることと致しました。
昨年六月十日に定例総会を開催いたしました。現在名簿に載っている約一、八〇〇名の会員に案内状を差し上げました。久方振りの再会に手を取りあつて喜びをあらわされる方、年に一度の総会を楽しみに出席される方、母校の校長先生

はじめ恩師の面々に出席いただき大変な盛り上がり様でした。
昨年のハイライトは、毎年出席される、光武照子氏(高女大正十五年卒)が卒寿を迎えられる事を祝して、出席者署名の色紙と花束をNHK天気予報でおなじみの吉竹顕彰氏より手渡してもらった事でした。
若い年代の出席が伸びず、課題となつていますが、幹事さん達の知恵を借りながら大勢の同窓生が気軽に参加できる様、工夫していきたいと思つております。

官と民の間で

鶴崎 剛さん



歳月の経つのははやいもので、鳥栖を離れて既に四十五年になります。
大都会の福岡市での勤めや生活はその一つ一つが戸惑いでしたが今は懐かしい思い出になりました。
四年前に福岡市役所を退職して現在は、民間会社で「第二の人生」に励んでいます。

ここでは、官と民の違いを改めて思い知らされています。官は「できない理由から考へる」民は「できる理由を必死で模索する」また、今の大不況時代に民は生き残りをかけてコスト削減に努め、取引先からの値切りに耐えている企業が大半だと思えますが、官の行政改革の進み方やコスト意識の持ち方は、どうなつて行くのでしょうか。引き続き注視して行かなければなりません。
佐賀県人の心意気で、不況に強い「民」作りに頑張ります。

「十一面観音菩薩巫像」に 鎌倉時代 対面して

鎌倉時代 伝円慶作
福泉寺 有明町
古田 洋介さん



昨年マンションから和室の自宅に転居、通勤を心配していましたが都市高速のお陰で短時間で助かつてい

ます。佐賀銀行から転出して四年、再び福岡勤務となりました。北九州までが私のテリトリーですが設備資金について銀行を補完する形でリース業務を展開しております。今年で福岡支店開設二十周年となります。厳しい環境が続いています。が「進むも勇」「退くも勇」と思っています。ところで私は佐賀の禅寺の出でございすが、昨年は福岡市博物館で「天神様の美術」に私の寺に伝わる「十一面観音菩薩巫像」が展示され、その穏やかな姿に對面出来感激致しました。飯盛山中腹にある福泉寺は菅原道真公とゆかりの深い鉄牛円心和尚の開山ですが当山由来記によると和泉式部生誕の地といわれています。私は子供の頃よく母親に「あなたはお仏壇で育っています」と諭されたのですがこれから感謝を忘れず日々精進してまいります。
「牡丹花は咲き定まりて静かなり、花の占めたる位置の確かさ」木下利玄
佐賀リース福岡支店長

天神まで58分「からつ号」運行中! (唐津⇄天神・博多駅)

大人片道 1,000円

往復乗車券 1,700円

1枚あたり850円・15%引き

4枚綴り回数券 3,000円

1枚あたり750円・25%引き

20枚綴り回数券 10,000円

1枚あたり500円・50%引き

お得

唐津営業所 TEL 0955-74-1121

大手口バスセンター TEL 0955-73-7511

昭和自動車株式会社 本社 〒847-0041 佐賀県唐津市千代田町2565-5

新型アリオンは
159.5万円から

PHOTO: A18" S package
車両本体価格 ¥1,910,000

アリオン新登場

クルマの楽しさをひとつに。
ALL in ONE

ALLION

セルシオ・クラウン・プリウス・アリオンの

福岡トヨタ自動車株式会社
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 ☎(092) 731-5555

川副少年十七年ぶりV

◎第三十二回県少年野球選手権大会・NTT西日本杯争奪大会（県軟式連盟、佐賀新聞社主催）の決勝戦が八月十三日、佐賀郡久保田町の県営みどりの森県営球場であり、川副少年（佐賀市）が新栄少年（佐賀市）を4-1で破り、十七年ぶり二度目の優勝を飾った。

川副少年は初回に先制、三回にも川崎正貴選手の右中間適時打などで着実に加点。本村純一投手が新栄打線を1点に抑えた。

閉会式では鶴田憲司・佐賀新聞社事業局長と仁位次治・県軟式野球連盟会長が選手たちの健闘をたたえた。

新校舎は木のぬくもり

◎藤津郡嬉野町の吉田小学校に県内産木材を多用した新校舎が完成し、八月三十一日、落成式が行われた。

同校は平成十四年四月に春日分校との統合を控えて同年八月から全面的に改築した。鉄筋コンクリート三階建てで、延べ床面積は約三千六百平方メートル。建設費は約七億九千八百万円。

各階にワークスペースや地

域の交流の場となる多目的ホールなどを設けたほか、校舎内部に可能な限り木材を使用し、木のぬくもりを感じられるように造られた。

落成式で谷口太一郎町長が「二十一世紀を担う子供たちが新校舎で新たな伝統を築くことに期待したい」とあいさつ。同小オカリナクラブ記念演奏や両地区に伝わる小浮立の披露などもあった。

佐志が2年ぶりV

◎第五十四回松浦地区青年相撲大会（唐津市、伊万里市、東松浦郡、有田町各相撲連盟など主催）が九月二日、唐津市の体育の森公園相撲場であり、団体では佐志が二年ぶり二十五回目の優勝を果たした。個人戦は宮崎友和選手（肥前）が優勝、二年ぶり二度目の松浦横綱に輝いた。

団体には十一チームが出場。三パットの予選リーグを勝ち上がった六チームで決勝リーグを戦い、佐志が五戦全勝で栄冠を手にした。個人戦は六十四人が予選トーナメントの後、上位四人が決勝リーグに進出し、宮崎選手が全勝で頂点に立った。

団体戦を制した野崎順一監

督は「優勝への重圧と緊張で予選から取りこぼしもあったが、最後は宮崎政彦の踏ん張りであまり締めくくれた」とコメントした。



熱戦を繰り広げた松浦地区青年相撲大会

山下氏が名誉市民辞退

◎元厚生大臣で前衆議院議員の山下徳夫氏（八二）は九月二十五日、同日開催の伊万里市議会で贈呈が決まった名誉市民の称号を辞退した。山下氏は「身に余る光栄」としながら「諸般の事情を深慮した」と語った。

称号の贈呈は川本明市長が九月定例会市議会に提案した。しかし、九三年に山下派の選挙違反事件で、当時の市議から二十六人が逮捕された経過から、労組OBら市民グループ三十人が「政治倫理確立の努

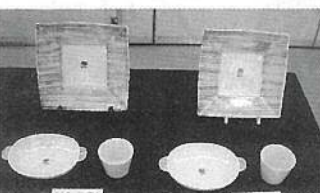
力に逆行する」と反対していた。同日市議会では四議員がそれぞれ立場から賛否を主張。無記名投票の結果、賛成二十、反対七（白票二を含む）の賛成多数で可決した。その後、山下氏から辞退の意向を伝える文書が各報道機関に届いた。

リサイクル有田焼

◎西松浦郡有田町の大有田焼振興協同組合（岩永浩美理事長）は陶磁器廃棄物の粉砕物を原料の一部に利用するリサイクル商品の開発に乗り出した。国内の陶磁器需要が大幅に落ち込む中、リサイクルをキーワードに消費者の視点から産地理念の見直しを図る。

陶磁器は製造過程でひび割れてしまった素焼きや「太白」と呼ばれる白磁くず、余った陶土などの廃棄物が発生する。その量は有田地区メーカー・窯元二十五事業所分だけで年間約五百トンほど。埋め立て処分されている。

同協組は平成十二年夏からリサイクル事業に取り組み、窯元や商社、県窯業技術センター、県立有田窯業大学校など産学官が協力して委員



リサイクル商品の試作品

「さが美人」初出荷

◎県経済連が二〇〇一年度から販売する県産ミカンの統一ブランド「さが美人」の初出荷が十月七日始まった。同年度産ミカンの生産目標は十万三千四百トンで、このうち八千一万吨が「さが美人」になる。

白石焼、東尾焼を紹介

◎三養基郡北茂安町観光協会（木下武文会長）が取り組んでいるパンフレット「北茂安の歴史」の第四集が発行された。

今回は「白石焼、東尾焼編」で、県内有数の伝統工芸である白石焼の特徴や変遷などともに地元でもほとんど知られていない東尾焼を紹介しているのが特徴だ。

白石焼関連では多大な影響を与えた白井走波や白罫（しろび）の製法などを説明。また、東尾焼についても、千栗八幡宮の神用の土器から発生した経緯や独特の製作風景などが載っている。

町内三千五百世帯にも配った。同協会では「地域の歴史を再発見できる内容で、大いに活用してほしい」としている。

パンフレットは四年前から発行しており、久留米大経済学部の大矢野栄次教授が監修。

この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。

点として注目され、電気メーカーや金融機関などが導入。米国では数兆円規模の市場に成長しており、委託設置も増えているという。

佐賀市はコールセンターが数十人から数百人規模の雇用を生み出すことを重視。中心街の空きビルや空きオフィスに誘致を進める。市商工振興課では「情報通信網の発達で、全国どこでもコールセンターが展開できる時代。沖縄県や札幌市が先行しているが、ぜひとも成功させたい」と意気込んでいる。

佐賀新聞文化賞

◎佐賀新聞社が県勢の発展と郷土文化の振興に貢献した人に贈る「佐賀新聞文化賞・奨励賞」の贈呈式が十一月二日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀であり、四人に賞状や記念品が手渡された。

今年の受賞者は「文化賞」が東亜工機社長で県経営者協会会長などを務める吉田博男さん（七七）、「鹿島市」、県陶芸協会会長で今年「人間国宝」に認定された陶芸家の十四代酒井田柿右衛門さん（六

四）、「西松浦郡有田町」、邦楽聖楽会会長で邦楽の振興に



秋晴れの下、大勢の人出でにぎわった「佐賀元氣まつり」会場

コールセンター誘致へ

◎製造業の低迷で企業誘致が厳しくなる中、佐賀市は順調な伸びを示す情報通信系企業の誘致に向けた助成制度を新設する。具体的には電話による申し込み受け付けや苦情処理、マーケティングなどを業務とする「コールセンター」を想定。機械設備の設置経費などを補助して誘致を進め、雇用の創出を狙う。

コールセンターは近年、企業の販売や顧客サービスの拠

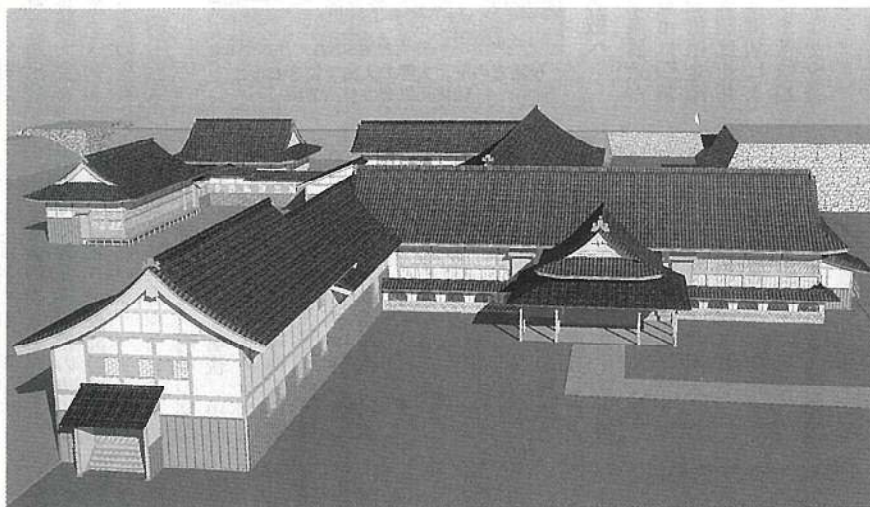
平成13年度 佐賀新聞文化賞贈呈式



「佐賀新聞文化賞」の（左から）柴田聖山さん、吉田博男さん、十四代酒井田柿右衛門さんと、「奨励賞」の古賀武夫さん

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	郵便番号	住 所 (自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
圓 山 絃 一					佐賀市
仁 部 和 樹					佐賀市
古 川 基 一					有田町
矢ヶ部 正文					川副町
山 下 隆					唐津市
小 柳 憲 治					佐賀市
江 頭 邦 弘					川副町
土 山 英 樹					佐賀市
一番ヶ瀬 正也					三瀬村
吉 本 麻 里					小城町
山 崎 登					佐賀市



佐賀県福岡情報センターだより

「佐賀県歴史資料館」(仮称) 建設

県では、平成十六年度の開館を目指して、昨年七月に「県立歴史資料館(仮称)」の建設工事に着手しました。

この施設は、日本の近代化に輝かしい役割を果たした「幕末・維新期の佐賀」を検証し、この時代の歴史をわかりやすく伝え、新しい郷土発展の源泉となる施設として、歴史の舞台となった佐賀城本丸跡地に建設しています。

建設にあたっては、佐賀城本丸遺構を保護しながら、佐賀十代藩主鍋島直正が天保期に再建した佐賀城本丸御殿のうち、応接の間である表部分を中心に、約二、五〇〇㎡を復元するものです。

建物の内部は展示空間として活用し、「佐賀城の変遷と本丸」、「幕末・維新期の佐賀」、「明治維新と佐賀の群像」の3つのテーマで、当時の佐賀の魅力を紹介することとしています。

問い合わせ先

佐賀県教育庁文化課

文化施設係

☎ 0952-257230

編集デスク

平成十四年の新春懇親会も大盛況でした。いつもながらの水間繁俊理事の軽妙なタッチの記事により、当日の様子が手に取る様です。楽しい県人会の懇親会として六月の総会・懇親会には、お誘い合せの上、是非お出かけ下さい。

特別寄稿「一歩、一歩」は宮副博昭様より「抜粋で書くことの難しさを体感、このシリーズは今回までにして下さい。」との申入れがありましたので残念ですがこれで終わります。

続けて読みたい方には、本のお接待をなさるそうです。県人会ならではの有難いことです。心からお礼申し上げます。

(I)

会報むつごろ

平成14年2月28日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎ 092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎ 0955-23-5214